

平成二十七年八月

亀岡市議会子ども議会会議録

平成27年 8 月

亀岡市議会子ども議会会議録

市議会・市制60周年記念事業亀岡市議会子ども議会会議録目次

会期 1日間（平成27年8月21日）

○第 1 号（8月21日）	1
1. 議事日程	
開会あいさつ（議長）	
市民憲章の唱和	
あいさつ（市長）	
第 1 議席の指定	
第 2 会議録署名議員指名	
第 3 会期決定	
第 4 質問・意見発表～再質問、自由討議	
○西田光圭議員の質問（亀岡小学校）	8
1 亀岡市の観光について	
○鷺見隆也議員の質問（亀岡小学校）	9
1 小学生の遊び場について	
○高岡明日空議員の質問（安詳小学校）	9
1 亀岡の自然環境「アユモドキの保護」について	
○湯浅光太郎議員の質問（安詳小学校）	10
1 安詳小学校の児童数について	
○稲原由里秋議員の質問（東別院小学校）	11
1 道路の拡幅、街灯の設置について	
2 子どもの遊ぶ場所（公園）、ごみ捨てをなくすことについて	
○和崎 昴議員の質問（西別院小学校）	13
1 雪の積もる体育館について	
2 急に途切れる放送機械について	
○上島紗季衣議員の質問（曾我部小学校）	14
1 亀岡市を交通事故ゼロの町に	

○平尾采純議員の質問（吉川小学校）	15
1 地域のハトについて	
2 ポイ捨てについて	
○井上太仁議員の質問（保津小学校）	17
1 亀岡駅北側の土地活用について	
○関本泰輝議員の質問（保津小学校）	18
1 亀岡市の歩道の現状とその整備について	
○谷本美咲議員の質問（蕨田野小学校）	19
1 スポーツ施設の充実について	
2 中学校給食制度について	
○野口千皓議員の質問（本梅小学校）	20
1 小規模校の良さについて	
○芝田頼樹議員の質問（畑野小学校）	22
1 消防署の設置について	
2 市長さんの仕事について	
○福阪夏菜議員の質問（青野小学校）	24
1 交通行政について	
○木村幸志議員の質問（大井小学校）	25
1 教室の学習環境について	
2 公園の設置について	
○新井慎平議員の質問（千代川小学校）	26
1 学校の体育館トイレ改修について	
○中井彩菜議員の質問（千代川小学校）	27
1 安全な通学路を確保してほしい	

○野々村拓哉議員の質問（亀岡川東学園川東小学校）	28
1 道路設備の充実について	
○北山礼於議員の質問（つつじヶ丘小学校）	29
1 地域について	
2 学校のクーラーについて	
○中川きらり議員の質問（つつじヶ丘小学校）	30
1 学校のトイレについて	
2 給食について	
○ 議員の質問（城西小学校）	32
1 亀岡市内を流れる川の「アユモドキ」について	
○山本果歩議員の質問（詳徳小学校）	33
1 学校のエアコン設置について	
2 通学路の安全や校区内の電灯のチェックについて	
○中塚 穰議員の質問（南つつじヶ丘小学校）	34
1 通学路の安全について	
○山河麗奈議員の質問（南つつじヶ丘小学校）	35
1 高齢者の通院について	
第 5 決議（案）について（決議表明、表決）	
あいさつ（教育長）	
閉会あいさつ（副議長）	

会 議 に 付 し た 事 件

議案番号	件 名	議決年月日	議決結果
決 議	ふるさと亀岡のまちづくりをともに考える決議（案）	27. 8. 21	可 決

市議会・市制60周年記念事業亀岡市議会子ども議会会議録

平成27年8月21日（金曜日）午後1時30分開会

○出席子ども議員（24名）

西	田	光	圭	（亀岡小学校）
鷺	見	隆	也	（亀岡小学校）
高	岡	明	日空	（安詳小学校）
湯	浅	光	太郎	（安詳小学校）
稻	原	由	里秋	（東別院小学校）
和	崎		昂	（西別院小学校）
上	島	紗	季衣	（曾我部小学校）
平	尾	采	純	（吉川小学校）
井	上	太	仁	（保津小学校）
関	本	泰	輝	（保津小学校）
谷	本	美	咲	（蕨田野小学校）
野	口	千	皓	（本梅小学校）
芝	田	頼	樹	（畑野小学校）
福	阪	夏	菜	（青野小学校）
木	村	幸	志	（大井小学校）
新	井	慎	平	（千代川小学校）
中	井	彩	菜	（千代川小学校）
野	々	村	拓哉	（亀岡川東学園川東小学校）
北	山	礼	於	（つつじヶ丘小学校）
中	川	き	らり	（つつじヶ丘小学校） （城西小学校）
山	本	果	歩	（詳徳小学校）
中	塚		穰	（南つつじヶ丘小学校）
山	河	麗	奈	（南つつじヶ丘小学校）

○出席議員（24名）

三	上	泉
菱	田	光紀
酒	井	安紀子
小	川	克己

奥	村	泰	幸
奥	野	正	三
田	中		豊
並	河	愛	子
山	本	由美	子
富	谷	加都	子
平	本	英	久
小	松	康	之
福	井	英	昭
齊	藤	一	義
小	島	義	秀
西	口	純	生
馬	場		隆
藤	本		弘
木	曾	利	廣
竹	田	幸	生
湊		泰	孝
明	田		昭
石	野	善	司
堤		松	男

○議会事務局（5名）

事務局長	藤	村	か	を	る
次長	山	内	偉		正
議事調査係長	鈴	木			智
主任	三	宅	晃		圓
主任	池	永	菜	穂	子

市議会・市制60周年記念事業 亀岡市議会子ども議会 議事日程

平成27年8月21日（金曜日）

開議 午後1時30分

開会あいさつ（議長）

市民憲章の唱和

あいさつ（市長）

- 第 1 議席の指定
- 第 2 会議録署名議員指名
- 第 3 会期決定
- 第 4 質問・意見発表～再質問、自由討議（前半）
（休憩）
質問・意見発表～再質問、自由討議（後半）
- 第 5 決議（案）について（決議表明、表決）
あいさつ（教育長）
閉会あいさつ（副議長）

上記のとおり

議 長

午後 1時30分開会

○議長（西口純生） 議員の皆さん、御参集御苦労さまです。議長の西口純生でございます。

市議会・市制60周年記念事業亀岡市議会子ども議会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

皆さん、きょうは大変緊張しておられると思います。大きく1回、深呼吸をしていただいて、楽な気持ちで聞いていただきたいと思います。

亀岡市立18小学校から選ばれました24名の議員の皆さんには、この日のために、大変な思いをして御準備をいただきましたことに、心から感謝を申し上げますとともに、その労をねぎらいたいと思います。また、お世話いただきました先生方には、心から感謝を申し上げます。

私たち亀岡市議会も、亀岡市のまちづくりについて、質問や御意見、構想も含めて、皆さんからのお話が聞ける日を大変楽しみにして、きょうの来る日を首長く待ち望んでいたところでございます。

次の世代の亀岡を担う皆さんの声を市民の声として、私たちは真剣に受けとめて、亀岡のまちづくりにつなげていきたいと考えています。

今回の答弁者である市議会の現役議員は、予算の執行権、いわゆる予算を使うことを決定することができる、亀岡市の市長さんや執行部の職員さんと違って、予算の執行権がありません。「これはやります」「それはできません」という明快な答弁をすることができません。今回は、皆さんからいただいた要望や御意見を聞く場として、この議場で子ども議会を開催させていただきますことに御理解を賜りたいと思います。

本日、皆さんからの質問や要望には、亀岡市の考え方や現状を盛り込みながら、個々の答弁者の考えではなく、議会としての答弁としてお答えをさせていただくこととしています。いただいた御意見は、議会で検討を加えて、重要な案件については、本会議での質問なり亀岡市へ

の提言として、皆さんの思いを実現に向けて取り組んでまいりたいと考えています。

ふるさと亀岡のまちづくりのために、皆さんとともに考えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、本日の議事進行に当たりましては、本会議の議事進行と同じように進めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

また、本日は大変多くの皆様に傍聴に来ていただきまして、まことにありがとうございます。心から歓迎いたしますとともに、厚くお礼を申し上げたいと思います。

ことしの2月5日からスタートいたしました16期目亀岡市議会は、次の世代を担う子どもたちの可能性について、議会もしっかりと支援をしていきたい、こういう思いで、大変強い思いを持って、今回の子ども議会を開催させていただくことになりました。この子ども議会に御理解を賜りますよう、心からお願ひを申し上げます。

また、本日の子ども議会の状況は、学校、保護者の皆さんの御理解をいただきまして、後日編集の後、インターネットで配信する予定でございます。そして、子ども議員には、録画したものを記念にお渡しする予定でございます。

本日は、この議場の傍聴席以外にも、議長席の後ろにある8階の全員協議会室をモニター室として、そして1階ロビーでもこの模様をテレビ放映いたしておりますので、満席の場合はどうぞ御利用いただければと思います。

以上、簡単ですが、開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

○議長（西口純生） それでは、ただいまから、市議会・市制60周年記念事業亀岡市議会子ども議会を開会します。

最初に、市民憲章の唱和を行います。

代表議員の吉川小学校、平尾采純議員、御登壇の上、よろしくお願ひいたします。

[平尾采純議員 登壇] (拍手)

○平尾采純議員（吉川小学校） 皆さん、こんにちは。

代表議員の平尾采純です。これより、市民憲章の唱和を行いますので、皆様、御起立いただくようお願いいたします。

[一同起立]

○平尾采純議員（吉川小学校） まず私が前文を朗読し、「一つ」と言いますので、その後、皆さん、唱和をお願いいたします。

京都から西へ、老ノ坂を越えれば朝霧の晴れ間に亀岡盆地が広がる。豊潤な水脈は、田園や里山に多彩な実りをもたらし、舟運を支えてきた保津川は、いまも溪流の舟下りで賑わっている。

古来、人びとは自然との調和やお互いの絆、家族のぬくもりを大切にしながら暮らしてきた。

そこには石門心学が生まれ、円山応挙の芸術が育まれた。城下町のたたずまいを色濃くとどめ、華麗な山鉦が巡り、地域に根ざした芸能が息づいている。

そんな亀岡に生きるわたくしたち市民は、こうした平安の営みを未来につなぐことを願って、市民憲章を掲げます。

一つ、水と緑の恵みを大切に、豊かな環境を次代に引き継ぐまちをつくります。

一つ、いのちを尊重し、共に輝き、心の通いあう家族とまちをつくります。

一つ、健やかな心とからだを育て、安らぎのあるまちをつくります。

一つ、互いにまなび、高めた力を活かす生涯学習のまちをつくります。

一つ、歴史と伝統を生かし、先人の知恵が香る文化のまちをつくります。

一つ、世界にはばたく、豊かな感性と英知を育むまちをつくります。

一つ、一人ひとりが主役となって、共に生き、ともに支え、平和と人権の根づくまちをつくります。

ありがとうございました。

○議長（西口純生） 御着席願います。

[一同着席]

○議長（西口純生） ありがとうございました。

次に、市長より挨拶をいただきたいと思います。

○議長（西口純生） 栗山市長。

[市長（栗山正隆） 登壇]

○市長（栗山正隆） 子ども議員の皆さん、こんにちは。私は亀岡市長の栗山正隆です。市議会、そして市制60周年を記念して開催されました子ども議会に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

先ほど、西口議長からもありましたように、大変暑い中、そして夏休み中にもかかわらず、こうして大勢の子ども議員の皆様にお集まりいただきましたこと、また、きょうのために準備をして臨んでいただきましたことに、私からもお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

あわせて、御協力いただきました学校の先生を初め保護者の皆様にも、厚くお礼申し上げます。

また、市民の皆様の御意見を聞く機会を広く持っていきたいということで、精力的にお取り組みされている亀岡市議会の御活動に対しましても、改めて敬意を表する次第であります。議員の皆さん、御苦労さまでございます。

さて、事前に私も皆さんからの質問内容を見させていただきました。それぞれの皆さんが学校のこと、地域のこと、亀岡市全体のことなどなど、一生懸命に考えていることが伝わってきました。亀岡市がこんなまちであつたらいいな、こんなふうになってほしいなという皆さんの思

いがいっぱい詰まっていると感じました。

ふだんは私たち市長や各部長などが、亀岡市議会議員の皆様の御質問にお答えする立場ですが、きょうはふだん質問される側の亀岡市議会議員の皆さんがお答えされます。亀岡市として、できていること、まだできていないこと、これはちょっとすぐには難しいなと思うことなど、いろいろありますが、そんな亀岡市の現状も皆さんにお伝えいただきながら、議会としてお答えされる子ども議会であるとお聞きしています。そして、皆さんからの意見は、後日、亀岡市議会議員の皆さんがまとめられ、さらに検討を加えられ、私のほうに伝えていただくと聞いております。

子どもであろうと、大人であろうと、また市長であろうと、議員であろうと、亀岡市をよくしたいという思いは皆同じです。後日、議会からまとめられた提言や御意見をいただきましたら、実現に向けて取り組めるよう、話し合っていきたいと思いますし、今後もふるさと亀岡をよりよくするために、一緒に取り組んでいきたいと思います。

きょうは、他の仕事も入っていますので、ずっとこの場で参加することはできませんが、できる限り見せていただきたいと思いますと思っています。

最後の写真撮影のときには戻ってきますので、どうぞ、子ども議員の皆さん、緊張せずに、日ごろの皆さんの思いを元気よく発表いただくことを心から期待しています。

それでは、本日の子ども議会が有意義な子ども議会となりますようお祈りいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。きょうは皆さん、本当に御苦労さまでございます。

○議長（西口純生） 栗山市長は、他の公務のため、ここで退席されます。栗山市長、ありがとうございました。

[栗山市長 退席]

○議長（西口純生） ここで傍聴にお越しにいたっている皆さんにお知らせいたします。

本日の子ども議会に関しましては、傍聴席から子ども議会の様子を写真撮影していただいても結構です。その際には、議事進行上の妨げにならないよう、シャッター音等には御配慮いただきますようお願いいたします。

また、報道関係者の皆さんにつきましては、議場に入場いただき、撮影いただいてもよいこととさせていただきます。なお、入場口は議長席の裏にあります扉を御利用ください。

こちらにつきましても、シャッター音、また入場の際の扉のあけ閉めなど、議事進行上の妨げにならないよう御配慮いただきたいと思います。

○議長（西口純生） それでは、これより日程に入ります。

日程第1、議席の指定を行います。

議席は、亀岡市議会会議規則第4条第2項の規定を準用し、議長において指定します。

各議員の議席は、お手元配付の議席表のとおり、指定します。

議 席 表

1番	西	田	光	圭	(亀岡小学校)
2番	鷲	見	隆	也	(亀岡小学校)
3番	高	岡	明	日	空 (安詳小学校)
4番	湯	浅	光	太	郎 (安詳小学校)
5番	稻	原	由	里	秋 (東別院小学校)
6番	和	崎		昂	(西別院小学校)
7番	上	島	紗	季	衣 (曾我部小学校)
8番	平	尾	采	純	(吉川小学校)
9番	井	上	太	仁	(保津小学校)
10番	関	本	泰	輝	(保津小学校)
11番	谷	本	美	咲	(蕨田野小学校)
12番	野	口	千	皓	(本梅小学校)
13番	芝	田	頼	樹	(畑野小学校)
14番	福	阪	夏	菜	(青野小学校)
15番	木	村	幸	志	(大井小学校)
16番	新	井	慎	平	(千代川小学校)
17番	中	井	彩	菜	(千代川小学校)
18番	野	々	村	拓	哉 (亀岡川東学園川東小学校)
19番	北	山	礼	於	(つつじヶ丘小学校)
20番	中	川	き	ら	り (つつじヶ丘小学校)
21番					(城西小学校)
22番	山	本	果	歩	(詳徳小学校)
23番	中	塚		穰	(南つつじヶ丘小学校)
24番	山	河	麗	奈	(南つつじヶ丘小学校)

○議長（西口純生） 次に、日程第2、会議録署名議員指名を行います。

会議録署名議員は、亀岡市議会会議規則第88条の規定を準用し、亀岡小学校、西田光圭議員、安詳小学校、高岡明日空議員を指名します。

○議長（西口純生） 次に、日程第3、会期決定を議題とします。

お諮りします。

亀岡市議会子ども議会の会期は、本日1日としたいと思いますが、御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（西口純生） 異議なしと認め、会期は本日1日に決定しました。

○議長（西口純生） 次に、日程第4、質問・意見発表を行います。

通告によりまして、順次、発言を許します。

亀岡小学校、西田光圭議員の発言を許します。

[西田光圭議員 登壇]

○西田光圭議員（亀岡小学校） 亀岡小学校の西田光圭です。

まず、僕の質問は、亀岡の観光についての質問です。

亀岡には、光秀まつりや亀岡祭など、亀岡の中では有名なものがありますが、県や府などと、そこまで全体には知れ渡っていないものがあります。ほかにも、保津川下りやトロッコ列車などは有名ですが、全国的にはそこまで有名ではありません。

そこで、亀岡に全国的に知ってもらえる、もっと人が来てほしいので、何か取り組みはされていますか。

これで僕の質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 酒井安紀子君。

○酒井安紀子議員 皆さん、こんにちは。酒井安紀子です。

本日は、亀岡市議会子ども議会に御参加いただき、ありがとうございます。

これから、皆さんの質問に私たち議員がお答えしてまいります。皆さんからの御意見や質問をお聞きするのを大変楽しみにしておりました。クラスや学校で一生懸命準備して下さったこと、お礼を申し上げたいと思います。

そして、皆さんの思いを受けとめ、市の現状を踏まえながら、議会として順にお答えしてまいります。

それでは、亀岡小学校、西田議員の質問にお答えします。

まず、現在、亀岡市で行っている取り組みは、亀岡の観光キャンペーンや亀岡の「いいところ」を紹介したパンフレットやチラシなどの発行です。観光イベントや、その取り組みをする団体にもたくさん補助金を出して、頑張ってもらっています。

こういった取り組みには、市民の皆さんが納めた税金が使われています。平成25年度は5,536万6,562円を使いました。今年度は6,587万円を使う予定です。議会では、使う前の予算と使った後の決算を審査して、税金の使い方をチェックしています。

さらに多くの人たちに亀岡市に来ていただくためには、西田議員が紹介して下さった光秀まつり、亀岡祭、保津川下り、トロッコ列車など、有名な観光の他にもたくさんある亀岡のす

ばらしいところを探して、その魅力を市民のみんなで伝えていくこと、また、亀岡に来てくれたお客様にまた来たいなと思っていただけるように、おもてなしの心でお迎えすることが大切だと思います。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） 次に、亀岡小学校、鷺見隆也議員の発言を許します。

[鷺見隆也議員 登壇]

○鷺見隆也議員（亀岡小学校） 亀岡小学校の鷺見隆也です。

質問内容は、学校の遊び場についてです。

私たちは、休みの日に、よく公園に行って遊んでいます。ボール遊びをしたいのですが、公園はボール使用禁止になっています。休みの日の学校のグラウンドは少年サッカーや少年野球が使っていて、私たちは遊べません。地域の公園でボールを使って遊びたいです。公園の近くのお家やほかの利用する人に迷惑をかけたくありません。何か工夫していただけないでしょうか。

以上で僕の質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 馬場 隆君。

○馬場 隆議員 馬場隆です。亀岡小学校、鷺見議員の質問にお答え申し上げます。

亀岡市内にある都市公園や住宅開発にあわせてつくられた開発公園は、小さいお子さんからお年寄り、障害のある方も遊びに来られるような地域の憩いの場所です。小さいお子さんやお年寄りがいる中でのボールの使用は、思わぬけがや事故につながります。安全のために、ボールの使用を禁止する看板を設置している公園もあります。

公園の使用については、地域の皆さんで話し合っ、ルールを決めて安全に使っていただけたらと思います。

また、よそのまち、地方の自治体ですが、ボール遊びができるような公園を設置しているところもありますので、そういう取り組みも参考にして、皆さんの声を大切にしながら、住みよいまちづくりを進めていきたいと考えています。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） 次に、安詳小学校、高岡明日空議員の発言を許します。

[高岡明日空議員 登壇]

○高岡明日空議員（安詳小学校） 安詳小学校の高岡明日空です。

私は、亀岡の自然環境、アユモドキの保護について質問します。

私は、私の生まれ育ったまち、亀岡が大好きです。この亀岡のまちが、いつまでも山や川などの自然が豊かできれいなまちであってほしいと思います。

しかし、亀岡にはサッカースタジアムが建設される予定があり、今でも反対派と賛成派で意見が分かれていると聞いたことがあります。私は、サッカースタジアムの建設により、アユモ

ドキのすみかがなくなり、アユモドキが絶滅してしまうのではないかとことや、車の排気ガス等で自然が壊れるのではないかとことがとても心配です。

アユモドキの保護など、サッカースタジアムの建設によって考えられる環境問題について、どのようにお考えか、聞かせていただきたいです。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 並河愛子君。

○並河愛子議員 並河愛子です。安詳小学校、高岡議員の質問にお答えします。

亀岡市では「京都スタジアム（仮称）」を中心とする「京都・亀岡保津川公園」の整備を進めています。面積は約13.9ヘクタールです。

この公園区域及び周辺に生息するアユモドキの保護について、現状のままでは近い将来に絶滅する危険性が高いことから、専門家の研究会から、アユモドキ保護のために保護区域をつくるべきとの意見が出されていきました。

そのような専門家の意見を受け、市民に親しまれる公園をつくることにより、これら希少な生き物を保護していこうとする計画であり、約3.6ヘクタールの共生ゾーンを整備する予定です。

スタジアムの建設工事や管理運営時における騒音や振動、照明、車の排気ガス等の影響を最小限にし、アユモドキ等への影響が最大限ないように努力しますが、アユモドキが絶滅するのではないかと心配されておられる市民の方もたくさんいらっしゃいます。

環境保全専門家会議でも、アユモドキの保全に関することしの夏の実証実験の結果が出てから、計画を見直すと言われています。

いずれにしても亀岡の自然を生かしたまちづくりを進めていかなければならないと考えています。

答弁は以上でございます。

○議長（西口純生） 次に、安詳小学校、湯浅光太郎議員の発言を許します。

[湯浅光太郎議員 登壇]

○湯浅光太郎議員（安詳小学校） 安詳小学校の湯浅光太郎です。

僕は、これからの安詳小学校の児童数について質問します。

安詳小学校では、ことしも162名の仲間が加わり、児童数は全校で845名になりました。これからは、どんどんと児童数がふえ、そのうち900名、1,000名になる可能性があります。このままでは、教室や遊び場所がなくなってしまう。さらに、運動会や音楽発表会といった学校行事も、これからどうなるのか、心配です。

亀岡市では、安詳小学校とは逆に、児童数がどんどんと減ってきている学校がたくさんあると聞いています。学校の児童数の増加や減少について、どのように考えておられるのか、聞かせていただきたいです。（拍手）

○議長（西口純生） 奥村泰幸君。

○奥村泰幸議員 奥村泰幸でございます。安詳小学校の湯浅議員の御質問にお答えいたします。

亀岡市内には18の小学校があります。その中に、児童数が減少している学校、また児童数が急激に増加している学校があります。それぞれの全校児童数から見ましても、児童数の多い学校、また少ない学校があります。

こうした状況から、亀岡市では、小学校及び中学校における児童数や生徒数の現状を踏まえまして、適正な学校の規模のあり方を検討するために、「亀岡市学校規模適正化検討会議」を設置しまして、いろいろな立場の人から意見を聞いているところでございます。

本年度、平成27年度末には、皆さんがよりよい環境の中で学習できるよう、亀岡市の基本的な考え方をまとめていく予定でございます。

特に児童数が増加しております安詳小学校については、児童の皆さんが安心して学校生活を送れるよう、議会としても、今後、意見を述べていきたいと思っております。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） 次に、東別院小学校、稲原由里秋議員の発言を許します。

[稲原由里秋議員 登壇]

○稲原由里秋議員（東別院小学校） 東別院小学校の稲原由里秋です。

まず1点目、道路の拡幅、街灯の設置について質問します。

東別院小学校の校区は広くて、学校までが遠いので、全校児童はスクールバスで通学しています。近くにある採石場を行き来するダンプカーが多いので、私たちの安全のことを考えてくださるのだと思うと、とてもうれしいです。

しかし、校区内の道路には危険な箇所があって、私たちが友達の家遊びに行くときに困っていることが二つあります。

一つ目は、東掛と城山台をつなぐ道路が細くて危険です。特に冬は、日陰のため、路面が凍てついていて、通行するのは大変危険です。

二つ目は、道路全体が暗いです。城山台の友達の家遊びに行き帰るときには、あたりが真っ暗でとても危険です。

このことから道路を広くして街灯を設置してほしいです。東別院町の交通環境の整備に関して、どのような計画があるのかを教えてください。

次に2点目、子どもの遊ぶ場所、ごみ捨てをなくすことについて質問します。

私の住んでいる東別院町には、公園が余りありません。友達と遊ぶとしても、その場所は限られています。学校は開放されていますが、学校から遠い地域があります。また、道路などにごみや空き缶が散らばっているのを見ると、残念でなりません。

そこで、東別院町の憩いの場となり、みんなで仲よく、楽しく遊べる公園を東別院町につく

ってほしいです。

また、ごみを捨てる場所を設置してほしいです。公園があれば、ごみ箱を置くのもよいと思います。

東別院町には桜塚クリーンセンターやエコトピアなどのごみ処理施設がありますが、ごみ処理に亀岡市がどのように取り組んでおられるのかを教えてください。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 齊藤一義君。

○齊藤一義議員 齊藤一義でございます。東別院小学校、稲原議員の質問にお答えいたします。

この道路は「府道茨木亀岡線」と呼びまして、京都府の管理となります。道路を広げる話は、以前から東別院町自治会を初めお話をいただいております。京都府に対して要望をいたしております。

しかし、歩道付き2車線道路の整備には時間がかかることから、今の道路の端に側溝をつける工事ができるように取り組んでいると聞いております。市としても、早く2車線道路が整備されますよう、今後も要望に努めてまいります。

街灯の設置については、毎年、大変多くの地域から要望があり、全て設置できていない状況でございます。東掛と城山台をつなぐ道路の特に暗い箇所については、東別院町自治会からも要望があり、また、私も議会で一般質問をしましたので、平成25年春にLEDの防犯灯が5基設置されました。まだまだ不足ではありますが、電気代の地元負担も含めて、地域の方々と話し合いをして、できるだけ多くの街灯が設置できればと考えております。

続いて、2点目の質問にお答えをいたします。

子どもたちの遊び場や地域の方々の健康維持や交流、憩いの場として、公園を確保することは大切なことです。

議員御指摘のとおり、東別院町には公園が少ないのでございますが、豊かな自然環境に囲まれた地域において、遊びや憩いの場をどのように確保すべきか、特色ある公園づくりについて、地域の方々とともに考えていただきますよう、お願いをいたします。

亀岡市では、ごみ捨てをなくすために看板設置やパトロールをしております。しかし、ぼい捨てや不法投棄がまだまだ多く、残念であります。

「ごみ箱の設置」については、公園や駅の周り、道路際などに設置されたこともあります。しかし、そのごみ箱に各家庭から出されたごみがたくさん捨てられ、ごみ箱があふれ、すぐに取り払われたこともあります。

ごみのぼい捨てやごみの不法投棄をなくすことや、置いてあるごみ箱を大切に使うこと、ごみ出しルールを守ることなど、私たちのまちをきれいにしていく気持ちと正しいマナーが最も大切であると考えます。

亀岡市では、ごみの減量・資源化に取り組んでいます。昨年10月からは、プラスチック製容器包装とペットボトルの分別収集を開始し、ごみの減量・リサイクルへの取り組みを進めております。ごみを減らすことで、ごみ処理施設を長く使用し、施設の建設費用や経費を減らすこともできます。まずは、できるだけごみとなるものをつくらない、売らない、買わないことで、ごみを生じさせない取り組みが一番大切なこととなります。

亀岡市は、ごみを限りなく少なくすることで、ごみの焼却や埋立処分による環境への影響をできるだけなくして、限りある地球の資源の再利用など、資源を有効に繰り返し使う社会へ向けて、取り組んでいるところでございます。

答弁は以上でございます。

○議長（西口純生） 次に、西別院小学校、和崎昂議員の発言を許します。

[和崎昂議員 登壇]

○和崎 昂議員（西別院小学校） 西別院小学校の和崎昂です。

一つ目の質問は、雪の積もる体育館についてです。

僕の学校は、児童数が20人と少ないので、休み時間になると学年関係なく遊んでいます。自然にも恵まれ、外で遊ぶことが大好きです。しかし、寒くなると運動場は凍ってしまい、朝以外は運動場で遊べません。そういうときには体育館で遊んでいます。

でも、体育館は、雨が降れば雨漏りがします。床がぬれないように気をつけてバケツを置いているのですが、遊んでいるときや体育の授業では邪魔になります。時々、バケツを置いていたところ以外にも雨水が落ち、ぬれたところで滑って転んだ人もいました。雪のひどい日には、体育館の中に雪が積もることがあります。

二つ目の質問は、急に途切れる放送機械についてです。

僕は放送委員長なのですが、放送中に雑音が入ったり、突然音が途切れたりします。先生に相談すると、大きな機械なのですごく高くて、すぐには買いかえられないそうです。

ぜひ、この二つのことについて会議で話し合ってください、改善されるよう要望したいと思います。

これで終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 田中豊君。

○田中 豊議員 田中豊でございます。西別院小学校の和崎議員の御質問にお答えします。

西別院小学校の児童の皆さんの切実な声を御質問いただきまして、ありがとうございます。

西別院小学校の体育館の雨漏り対策については、学校やあるいは自治会から、既に要望も亀岡市のほうに届けられております。

西別院小学校の体育館は昭和51年に完成して、建築後39年が経過しており、それによって雨漏りがしているというふうに考えられます。

このために、亀岡市の教育委員会では、雨漏りを改善していくために、ことしに調査を行っ

て、来年度に雨漏り対策の工事を行う、こういう予定でございます。そして、ことしの6月議会では、そのための設計やあるいは調査の費用として、100万円の予算が議会で認められました。

また、雪が積もることにつきましては、空気の循環用の通気口から雪とそして風が入ってきたものではないかというふうに思いますが、通気口から入ることを防ぐために屋根のふきかえ工事と合わせて改善がされる予定になっています。

それから、2点目の質問にお答えをいたします。

西別院小学校の放送機械は、平成16年に更新されています。その後、平成23年にメーカーによる無料点検が実施されましたが、新しくされてから既に10年以上が経過しているもので、設備に不具合というのか、そういう故障が発生してきているものというふうに思われます。

教育委員会では、学校の先生にも現状を確認するとともに、その原因の調査を行って、できるだけ早く修理したいというふうに考えています。

亀岡市議会としましても、早急に改善ができるように、教育委員会のほうに申し入れを行いたい、このように考えています。

以上が答弁でございます。

○議長（西口純生） 次に、曾我部小学校、上島紗季衣議員の発言を許します。

[上島紗季衣議員 登壇]

○上島紗季衣議員（曾我部小学校） 曾我部小学校の上島紗季衣です。

まず、一つ目の質問をします。

曾我部小学校では、自分たちだけがや事故を防ぐ努力をして、インターナショナルセーフスクールの取り組みを進めています。私たちが通っている通学路の中には、道に沿って用水路が流れていたり、信号や横断歩道がないところや路側帯に車が入ってくるような狭いところを通ったりして、危険な箇所を通学している登校班があります。歩行者が安心して通れる通学路にするために、どのような対策をしておられるかを教えてください。

二つ目は、私たちの学校は、自転車に正しく乗るために自転車免許証をとっています。交通事故から身を守るために、自転車に乗るときはヘルメットをかぶるように呼びかけていますが、サイズが合わなくなったり、値段が高かったりしてなかなか着用率が上がりません。ヘルメットをもっと安く買える方法を考えていただけませんか。

これで質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 石野善司君。

○石野善司議員 石野善司です。曾我部小学校の上島議員の質問にお答えいたします。

曾我部小学校の皆さんには、インターナショナル・セーフスクール（ISS）の取り組みを大変熱心に進めていただいて感心いたしております。ISSは安全安心な学校づくりのため、何が問題で、どうすればけがや事故を減らし防げるかをみんなで考え、地域の皆さんや保護者、

市役所や警察などと協力する仕組みをつくり、活動を進めていくものであります。

御質問の曾我部小学校から穴太寺に向かう道路は、京都府が管理いたしております。この道路沿いの用水路にふたをかけて歩道が確保できないかと、地域の方々と以前から話し合いがされてきたところではありますが、用水路の管理者や地域の皆さんの協力がやはり必要になります。そうした中で、現在もまだ実現はされておられません。また、信号機や横断歩道を設置してほしいという箇所は、地域の方から警察署に対し要望されておりますし、亀岡市としても、今後も地域の方と話し合いながら、京都府や警察署に要望していきたい、このように思っております。

また、亀岡市では、通学路の安全対策を進めるために、関係機関が改善に向けた話し合いをする場を設定し、危険箇所を点検して、皆さんが少しでも安心して通学ができるよう取り組んでいるところでございます。何よりも交通安全は、車も人もルールを守ることが大切です。地域住民による見守り隊にお世話になったり、ドライバーのマナー向上のための啓発活動を行うなど、ソフト対策も充実させ、通学の安全確保に努めているところでございます。

そして、二つ目の自転車に乗る時のヘルメットの着用ですが、安全を確保するために大切なことでもあります。現在のところ、ヘルメットを安く買えるように市役所や学校で援助する制度はございませんので、ぜひとも、サイズが合わなくなったりしたら、互いに譲り合って、みんなを着用率が上がるように工夫を考えていただきたいと、このようにも思うところでございます。

特にその他にも、自転車に乗る時は自動車の運転者や歩行者などから見やすいように、目立つ色の服装や反射材を使用して、事故に遭わないように毎日学校に通っていただきたいと、このように思います。

答弁は以上でございます。

○議長（西口純生） 次に、吉川小学校、平尾采純議員の発言を許します。

[平尾采純議員 登壇]

○平尾采純議員（吉川小学校） 吉川小学校の平尾采純です。

まず1点目、地域のハトについて質問をします。

私の地域にはたくさんのハトがいます。ハトのふんもたくさんあります。ハトのふんは体に害を及ぼします。アレルギーやぜんそく、肺炎、脳炎になる可能性もあります。それを予防するために、網を張ったり、小まめにふんの掃除をしたりしていますが、その網にひっかかってハトが死んでいたり、また同じ場所に戻ってきたりしています。私は、これらのことは、自然にも人にも余りよくないことだと思います。

日本の自治体では、鳥獣の駆除に予算が使われていると聞きますが、対応していただけないでしょうか。

次に2点目、ぼい捨てについて質問をします。

私の地域は、ごみ箱があるのにごみをぼい捨てする人がたくさんいます。私が見かけたら注

意しますが、それでも落ちているごみの量は減りません。学校でも学期に1回くらいクリーン作戦といって、自分の住んでいる地域をきれいにするのですが、それでも拾い切れません。

私は、ぼい捨ては、自然や地域、そして自分にとってもよいこととは思えません。だから、ごみを減らすことに協力していただけないでしょうか。

質問は以上です。（拍手）

○議長（西口純生） 藤本弘君。

○藤本 弘議員 藤本弘でございます。吉川小学校の平尾議員の質問にお答えいたします。

まず、ハトは雑食ですので、さまざまなものをえさとしております。また、人間からえさを与えられている場合も多いようでございます。また、ハトは、雨風がしのげるすき間を好んで巣をつくります。そして、人間が生活する近くにいるハトは、駅の構内の蛍光灯の上や、民家の軒下、マンションなどのベランダの室外機のすき間などに巣をつくることがよくあります。

人間が生活している近くに、ハトが多くいる原因といたしまして、まず、ハトのえさになるものがある、またさらに、ハトが巣をつくりやすい環境があるのかもしれない。

ハトや野生の鳥たちは、「鳥獣保護法」という法律で守られております。ですから、勝手に捕まえたり傷つけたりすることはできません。亀岡市におきましても、行政もハトを捕まえたり、ハトの巣を取っ払ったりなどの作業は行っておりません。

カラスもそうですが、ハトやカラスにえさをやらない、また、えさとなるようなものを置きっぱなしにしないことが大切であります。

また、ふんの害も困ったものでございます。ハトが多くいるところの状況を観察し、地域の人と一緒になって何が原因かを考えて、対策を練って取り組んでいかなければならないと、このように考えております。

そして、二つ目の質問にお答えいたします。

私も全く同感でございます。亀岡市におきましても、ごみの投げ捨て等を防止するためにパトロールを実施し、亀岡の豊かな自然と住みよい生活を守るために取り組んでいるところでございます。

また、地域や団体で環境の美化活動として、道路や川にぼい捨てされた空き缶やペットボトル等のごみ拾いなども実施していただいております。それに対しまして、亀岡市ではごみ袋をお渡ししたり、また清掃用具をお貸ししたり、集められたごみの受け入れ等の支援も行っているところでございます。

また、御指摘のとおり、不法投棄防止や環境美化活動の看板をつくり、ごみの多いところに設置したり、またポスターの募集などもしたりして、ごみ減量への啓発普及に努めているところでございます。

先ほど、学校でのクリーン作戦、大変にありがとうございます。皆でごみのぼい捨ては注意し、きれいな環境をつくっていきたいと思います。今後も御協力をよろしくお願いいたします。

答弁は以上でございます。ありがとうございます。

○議長（西口純生） 次に、保津小学校、井上太仁議員の発言を許します。

[井上太仁議員 登壇]

○井上太仁議員（保津小学校） ただいま議長より発言のお許しをいただきました保津小学校の井上太仁です。通告に従いまして、亀岡駅北側の土地活用について、質問します。

僕の通っている保津小学校は亀岡駅の北側にあつて、毎年学校に通う児童の数が減ってきています。今度、亀岡駅の北側が開発されて、サッカースタジアムや公園ができると聞いています。中にはマンションも建つと聞いているので、保津町の人口もふえ、活気ある町になるのではないかと楽しみにしています。

そこでお尋ねしたいのが、亀岡駅北側の土地活用についてです。これから亀岡駅北側がどのように発展していくのか、教えてください。

これで私の全ての質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 堤松男君。

○堤 松男議員 堤松男でございます。保津小学校、井上議員の御質問にお答えさせていただきたいと思ひます。

亀岡駅の北側で、先ほどございましたマンションが建つと聞いている場所等につきましては、わかりやすく言えば、ガレリアかめおかの西べらに川が流れています。その川が、葬儀場がありますセレマの北べらを通つて、そしてJR亀岡駅の北べらを通つて桂川に流れます。この川の区間とJR亀岡駅とのこの線路の区間、この辺が一定、まちづくりをする、そういう場所となっております。

現在、面積は約17ヘクタールを予定しています。17ヘクタールといいますと、もう御案内のとおり、100メートル角が17個分の広さになります。そこに、先ほどございましたマンションやまた食堂街、そしてお土産屋さん、また住宅、こういった施設、建物を建てる予定と聞いております。

そして何よりも大切なのが、今、この土地は農地であります。それを、農地をお持ちの皆さんと一緒に協力し合つて、その農地を全部一旦つぶして、そして真四角の整形にして、道路も真つすぐつくようにして、そうしたまちづくりを今、農家の皆さん、役員の皆さん、亀岡市が一体となつて考えていただいております。この名称が、土地区画整理という名前で事業が行われる予定であります。

それからもう1点御質問がございました。サッカースタジアムの関係であります、これはもう亀岡のいろんな広報紙でも知つていただいておりますけれども、2万人が観戦できるスタジアムを建設していただく予定になっております。このスタジアムが完成いたしましたら、ただサッカーの試合をするだけではなく、市民がいろんな大きなイベント、いろんなスポーツ系の大会、こういうことも皆さんができる予定の、京都府が建てる施設であります。

このことによって、スタジアムや保津川下り、こういった観光客の皆さんがみえて、またスタジアムへ多くの人がみえます。また、まちが活性していくということで、井上議員が高校生ぐらいになってきますと、非常にまた町並み、保津町も含めて活気のあるまちになっていくのではないかと考えておりますので、御期待をいただきたいと思っております。

質問に対しての答弁とさせていただきます。

○議長（西口純生） 次に、保津小学校、関本泰輝議員の発言を許します。

[関本泰輝議員 自席]

○関本泰輝議員（保津小学校） ただいま議長様より発言のお許しをいただきました保津小学校の関本泰輝と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

では、質問させていただきます。

僕は、学校から家への下校や町探検に行くときに、自分の車いすを使って移動しています。そんな時に困っていることがあります。道路がでこぼこで進みにくかったり、道路の横にある溝が怖かったりします。

そこで、道路の横にスロープをつくったり、溝があることやでこぼこ道があることを知らせるための車いすの人専用の標識をつくったらいいなと思います。そうすると、車いすに乗っている人も安心して出かけることができると思います。

亀岡市では、車いすに乗っている人や障害がある人に優しいまちづくりをどのように進めているか、教えてください。

これで質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 奥野正三君。

○奥野正三議員 奥野正三でございます。保津小学校の関本議員の質問にお答えします。

亀岡市では、障害者基本計画などの計画を決めて、障害のある人や高齢者など、誰もが安心して移動ができたり、また施設の利用ができる暮らしやすいまちづくりを目指しています。あわせて、バリアフリー基本構想に沿って、JR亀岡駅周辺地区とJR千代川駅周辺地区の2カ所を重点整備地区に設定して、道路などのバリアフリー化を進めています。

その他の場所では、皆さんが安全で安心して道路を使っただけのように、道路パトロールで点検したり、また自治会の皆さんを初め多くの地域の方々から危ないところを教えてもらって、傷んでいるところを直しています。

でこぼこで進みにくかったり、道路の横にある溝が怖かったりする箇所については、整備に向けてよい方法を、自治会の皆さんを初め地域の皆さんともども、相談しながら進めていくことが大切だと考えています。

以上で答弁を終わります。

○議長（西口純生） 次に、蕨田野小学校、谷本美咲議員の発言を許します。

[谷本美咲議員 登壇]

○谷本美咲議員（菫田野小学校） 菫田野小学校の谷本美咲です。

まず1点目、スポーツ施設の充実について質問をします。

私はサッカーをしています。その中で、少し困ったことがあります。それは、亀岡に大きなスポーツ店がないということです。買い物には京都市まで行かなければなりません。亀岡市には、大型運動スタジアムの建設の予定もあるので、ぜひ大人も子どもも楽しめるよう、大きなスポーツ店をつくっていただけたらと思います。

次に2点目、中学の給食制度について質問をします。

私たちは入学してから、バランスのとれた食事を食べてきて、心も体も大きく成長してきました。中学でも、バランスのとれた温かい給食を食べたいと思います。クラスの中で、こういった意見がありました。保護者の方の意見でもあります。御検討をお願いします。（拍手）

○議長（西口純生） 小川克己君。

○小川克己議員 小川克己です。菫田野小学校、谷本議員の質問にお答えします。

現在、亀岡市内では、大型ではないかもしれませんが、スポーツ用品を専門に売っているお店があります。大型スーパーには専用コーナーもあります。いろいろなスポーツ競技がある中で、お店にない商品は取り寄せをして対応しているとお聞きしています。

また、現在スポーツに触れ合える取り組みとしましては、亀岡運動公園で毎月1回、いろいろな種目のスポーツを自由に体験できる「ふれあいスポーツデー」、毎年秋に行っている「ふれあいハイキング」、そして小学生を対象にした「スポーツ体験教室」などがあります。また、地域でいろいろとスポーツに取り組んでおられるサークルなどがあるとお聞きしております。

今後は、京都スタジアム（仮称）ができることによって、もっとサッカーなどのスポーツが身近に観戦でき、そしてたくさんのお店が周辺にできると考えられております。

また、スタジアムができる京都・亀岡保津川公園の中には、親子や友達同士など、みんながスポーツを通じて交流できるような広場、サブグラウンド等もできる予定です。野球少年が甲子園を夢見るように、サッカーやラグビー好きの子どもたちが、いつか亀岡のスタジアムで試合できることを夢見る、そんなスタジアムになることと思います。

これからも、子どもから大人まで、スポーツに触れ合える機会を充実させていけるまちづくりができるように、議会としても働きかけていきます。

続いて、2点目の質問にお答えします。

最近「食育」とよく言われておりますが、「食」、食べることから学ぶことは大切なことです。しっかり朝食をとり、栄養バランスのとれた食事をするのは、心と体の発達にもとても大切なことだと言われております。

中学校給食については、いろいろな人から要望を聞いており、中学校給食を必要とする人がたくさんいることは認識して議論もしています。

給食を提供する方法には2種類あります。学校で調理して出す方法と、センター等で一括し

てつくり各学校に届ける方法、その2種類があります。議会といたしましても一番よい方法をさらに研究し、提案していきたいと思っています。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） 次に、本梅小学校、野口千皓議員の発言を許します。

[野口千皓議員 登壇]

○野口千皓議員（本梅小学校） 本梅小学校の野口千皓です。

僕は、小規模校のよさについての質問をします。

僕は、3年前に亀岡で一番の大規模校から小規模校に転校しました。転校したとき、「すごく小さいな」「友達できるかな」など、不安でいっぱいでした。しかし、その不安はすぐになくなりました。同じ学年の友達だけではなく、全校のみんなが僕に優しく声をかけてくれ、すぐにみんなと友達になれました。僕は、心の底からみんなに感謝しました。小規模校だからこそだと思いました。

また、大規模校にいたときは、何をするにも自分から積極的に発言しようと思いませんでした。人数が多く、誰かが発言してくれたからです。何をするにも人に頼っていました。

しかし、この学校に来て驚きました。全員が自分の意見を積極的に答えているからです。少人数なので、発言する機会がふえます。一人一人の自主性が必要であり、一人一人がリーダーになれるのです。最初は本当に恥ずかしかったけど、みんなに負けないよう、一生懸命発言することで、僕は何事にも積極的な人間になれたと思います。

最近、近くの学校で統廃合が行われていますが、小規模校は大規模校にはないよいところがたくさんあります。こうした僕たちの思いも積極的に聞いてほしいと思います。

これで質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 三上泉君。

○三上 泉議員 三上泉です。本梅小学校、野口議員の質問にお答えします。

まず、転校してこられて、短い期間の中でその学校のよさや児童の皆さんのよさに気づき、そして今お伺いしていると、その中で自分が育っていく自分のよさにも気づいて、そしてこの学校を大事にしたいと思われているところが大変すばらしく、聞いていてとてもうれしく思いました。今後も、住んでいる町や学校を大切に思う心を、お友達とともに大きく広げていただきたいと心から願っています。

さて、御質問では、たくさんいいところがある小規模校をなくさないでほしいという願いが大もとにあると察しました。

亀岡市内には18の小学校があり、大規模校も小規模校もあります。どの学校にも地域に根差したよさがあり、そのよさを生かして、どんな規模でも全ての学校がよりよい教育を行えるよう、学校の環境や条件整備をしっかりと行っていくというのが、教育委員会や亀岡市の基本的な考え方であり、やらなくてはいけない仕事だと考えています。

一方で、児童数の差が広がる状況を踏まえ、学校の規模がどのくらいがよいかを検討するため、先ほども答弁にありましたが、「亀岡市学校規模適正化検討会議」という名前の話し合いの場をつくって、いろいろな立場の人から意見を聞いています。また、去年はアンケート調査も実施いたしました。これらを踏まえ、今年度末には、亀岡市の基本的な考え方をまとめる予定になっています。

しかしともあれ、今後もそれぞれの学校のよいところを生かしながら、教育活動の充実が図れるように考えてまいります。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） これで、質問・意見発表の前半が終了しました。

前半の内容について、もう一度質問を行う再質問及び自由に議論を交わす自由討議をしたいと思う子ども議員はありますか。ある場合は、挙手を願います。

井上議員。

○井上太仁議員（保津小学校） 保津小学校の井上太仁です。

本梅小学校の野口君の発言を聞いて思ったことを発言します。

僕の通っている保津小学校も、全校児童47名の小さな学校です。6年生は毎年、保津町の歴史や保津の火祭りの歴史を地域の方から教えてもらっています。僕の生まれた町のことをいろいろ教えてもらうことで、保津町をこれからも大切にしていこうという気持ちになりました。これは、保津町に保津小学校があるからできたかもしれません。町に小学校があり続けるということは、町が元気にあり続けることだと思いました。

これで発言を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） ほかにありますか。

高岡議員。

○高岡明日空議員（安詳小学校） 安詳小学校の高岡明日空です。

私は、亀岡の自然環境の保護について再質問します。

保護区域など、自然環境を考えた施設をつくられると先ほど答弁を聞きましたが、そのような施設はいつつくられる予定ですか。つくる予定などを決めていないと、予定が白紙になってしまうことも絶対には言い切れないと思います。保護区域などの施設をつくる予定を聞かせていただきたいです。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 並河愛子君。

○並河愛子議員 先ほど御答弁もさせていただきましたが、こうしたアユモドキ保全のための共生ゾーンを整備する予定であります。ことしの夏、こうしたアユモドキの保全に関する実証実験なども踏まえまして、計画を見直すとされております。

スタジアムそのものは平成30年度の完成予定でございますので、それまでに順次行っていく

というふうには考えております。

以上です。

○議長（西口純生） 関本議員。

○関本泰輝議員（保津小学校） 段差のことで質問します。

僕は車いすで移動していると、少しの段差でもこけそうになって少し怖いです。そこで、そのことを皆さんによく知っていただきたいと思います。

これで終わります。（拍手）

○議長（西口純生） ほかにございませんか。

自由討議については、感想を言っていただいても結構でございますので、ほかに。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○議長（西口純生） それでは、これで再質問、自由討議を終了します。

暫時休憩します。

午後 2時50分休憩

午後 3時05分再開

○議長（西口純生） 休憩前に引き続いて会議を開きます。

畑野小学校、芝田頼樹議員の発言を許します。

[芝田頼樹議員 登壇]

○芝田頼樹議員（畑野小学校） 初めに、消防署の設置を提案します。

僕は、亀岡市の西部に消防署の設置を提案します。

亀岡市中心部にある消防署から僕が住んでいる畑野町へは遠く、すぐに出動しても時間がかかります。消防団はありますが、昼間火事になったとき、初期の消火活動には人手が足りず、火災が大きくなるおそれがあるからです。また、周りは山に囲まれているので山火事になることも考えられます。

実際、この間学校の近くで火災があり、火災の恐ろしさを目の当たりにしました。高齢者の方も安心して住めるように、消防署の設置を提案します。

次に、市長さんの仕事について質問します。

社会の時間に議会のことや税金のことについて学習しました。市長さんのことについても少し学習しました。そこで市長さんについて質問します。

市長さんの仕事はどんなことですか。市長さんは亀岡のまちを住みよくするために、どんな計画をされていますか。市長さんはどんな会議に出席されるのですか。社会の時間で習ったこと以外にも、もう少し市長さんの仕事について知りたいと思いました。よろしくお願いします。

（拍手）

○議長（西口純生） 小島義秀君。

○小島義秀議員 小島義秀です。これから、後半の皆さんの質問にお答えしていきます。

前半の皆さんの質問を聞いて、緊張も少しほぐれたのではないかと思います。あと12人の子ども議員の皆さんの質問が終われば、先ほどのように自由討議の時間がありますので、自分の意見があれば遠慮なく言ってほしいと思います。

それでは、畑野小学校、芝田議員の質問にお答えいたします。

消防や救急の仕事は「京都中部広域消防組合」というところが行っており、そこが亀岡市と南丹市と京丹波町の2市1町を受け持っています。面積でいうと京都府の総面積の約4分の1という広大な地域になりますが、現在はそこに二つの消防署、亀岡消防署と園部消防署と、一つに分署、亀岡消防署東分署があり、四つの出張所、八木、日吉、美山、丹波が設置されています。

畑野町など亀岡市の西部地域では、消防車や救急車が到着するまでに時間がかかることから、消防署の出張所を設置してほしいという強い要望が以前からあります。京都中部広域消防組合は亀岡市と南丹市と京丹波町が共同で運営していることから、新しく出張所を設置するためには、経費の負担を含めて2市1町でよく相談する必要があります。すぐに設置するという事は難しい状況にありますが、亀岡市は出張所の設置は必要だと考えていますので、消防組合に対して引き続き設置を要望する考えです。

続いて、2点目の質問にお答えいたします。

一つ目、市長の仕事については、どうしたらもっと亀岡市がよくなり、市民の皆さんに元気で安全安心に暮らしてもらえるかを考え、亀岡市がこれから進んでいく目標を決定したり、亀岡市を発展させていくための計画をつくり、それを実行していくことです。また、亀岡市の代表として会議に出席したり、たくさんの行事に参加して挨拶をしたり、市民の皆様と交流も深めています。

二つ目、まちを住みよくするための計画につきましては、平成29年度末に亀岡駅北側にスタジアムが完成する予定です。これによって、たくさんの人が亀岡市を訪れ、新しい人との交流やにぎわいをつくり、亀岡市をより元気なまちにしたいと市長は考えておられます。そして、保津川下り、トロッコ列車、湯の花温泉など観光スポットと一緒にPRすることで、このにぎわいを亀岡じゅうに広げ、亀岡市に住む人はもちろんのこと、亀岡市を訪れる人にとっても魅力あるまちを目指したいと考えられています。

また、子どもからお年寄りまで安全で安心して暮らせるよう、「災害から皆さんの命を守ること」、「皆さんの健康づくり」、「道路や建物の整備」、「ごみを減らすこと」など、その他生活のいろいろな場面に合わせて、たくさんの計画があります。

三つ目、市長の出席される会議についてですが、市長の仕事を助けてくれる副市長や、市役所のそれぞれの専門の分野のリーダーである部長たちと一緒に会議をし、市民の皆さんのために税金を何に使ったらよいかを考えたり、亀岡市の問題を解決する方法を考えたりしておられます。また、他の市の市長が大勢集まる会議に出席して、自分の市のことについて発言したり、

他の市の情報をもったりして、お互いが協力してよりよいまちになるように話し合われています。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） 次に、青野小学校、福阪夏菜議員の発言を許します。

[福阪夏菜議員 登壇]

○福阪夏菜議員（青野小学校） 青野小学校の福阪夏菜です。

私は、交通行政について質問します。

私たちの住む青野地域は交通の便が悪く、駅や商店に行くのに大変不便です。車を運転できない子どもたちや高齢者のためにも、バスの増便や代替交通手段を考えてほしいです。

また、普通のバスだけでなく、乗り合いタクシーやデマンドバスなど、予定に合わせて利用できる交通手段をつくってはどうか。

私たちの住む地域は、湯の花温泉やききょうの里など、観光資源があります。また、近隣の南丹市や篠山市にも観光資源があります。そこで、篠山市や南丹市と連携して、市をまたぐ公共交通ネットワークをつくり、地域の活性化に加え観光にも活用してはどうか。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 平本英久君。

○平本英久議員 平本英久でございます。青野小学校、福阪議員の御質問にお答えいたします。

まず最初に、バス交通の現状を少し御説明させていただきます。

現在、亀岡を走る「ふるさとバス」、こちらの運行に、年間約9,700万円が必要です。バスを利用してもらっている皆さんからのバス運賃は合計約1,650万円です。必要な9,700万円から1,650万円を差し引いた残りの約8,100万円の赤字の部分を、亀岡市と京都府で負担をしています。

車の運転ができない市民の皆さんの願いは、「いつでも行きたいところへ行くことができる」、そういったバスなどの交通機関を充実して、簡単に移動できることが理想であることは十分理解しています。

しかし、いつでもどこでも移動することを通常の、現在走っているバスではなかなか対応できないということも考えています。そういった幅広い希望に応えることができるよう、今、福阪議員が御指摘をされた乗り合いタクシーや、あらかじめ予約して走らせるデマンド方式のバス、こういった新しい方法も含め「ふるさとバス」のあり方を考えていこうと思っています。

市をまたぐ公共交通ネットワークについては、現在、京阪京都交通バスと連携し、週末に亀岡、南丹、篠山市まで500円で乗り放題の「かめたんバス」を実施しているところです。亀岡市では、市民の皆さんにとって使いやすいバスとなるように、これからも改善していくと同時に、多くの観光に来てもらえるよう、公共交通のネットワークの充実を進めていこうと考えて

います。

皆さんも積極的にバスを使ってもらうなど、ぜひ御協力をお願いいたします。

以上、答弁を終わります。

○議長（西口純生） 次に、大井小学校、木村幸志議員の発言を許します。

[木村幸志議員 登壇]

○木村幸志議員（大井小学校） 大井小学校の木村幸志です。

まず1点目、教室の学習環境について質問します。

僕たちの通っている大井小学校の校舎は、建ってから40年以上経過しています。毎日学校で過ごして気になる点が幾つかあります。

一つ目は、夏になると教室が大変暑くて、集中して勉強しようと思ってもなかなかできない現状があります。扇風機をつけていますが、ほとんど効果がないくらいです。温暖化の影響もあり、5月ぐらいから暑くて我慢できない日もあります。教室にクーラーを設置してもらうことはできないのでしょうか。

二つ目は、トイレのことです。教室や廊下にいると、トイレの悪臭が漂ってきます。勉強していてもくさいにおいが気になり、集中できません。トイレの扉も下の部分が腐っていて、かなり傷んでいます。トイレに行こうという気にならず、我慢してしまうこともあります。誰でも行きたくなくなるような気持ちよいトイレにならないのでしょうか。

次に2点目、公園の設置について質問します。

僕たちの校区には小さな公園は幾つかあるのですが、ボールを使って遊んでよい公園はほとんどありません。このごろの子どもはゲームばかりして遊んでいると思われていますが、それは遊ぶ場所がないのも関係しています。空き地はあるので、そこにみんなが遊べるような公園をつくることはできないのでしょうか。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 山本由美子君。

○山本由美子議員 山本由美子でございます。大井小学校の木村議員の質問にお答えいたします。

学校は、皆さんの学習、生活の場であるため、安全性や環境整備は極めて重要なことだと考えています。

一つ目のクーラーの設置につきましては、木村議員が言われたように夏の暑さは厳しく、教室での学習は大変だと思います。これまでも市に対して多くの議員がエアコン設置を求めています。全ての教室にクーラーをつけることは、クーラー本体の機械や電気代など多くの費用が必要となるため、設置に至っていないのが現状です。クーラーを設置することは、学習環境を快適にしていくためには大切なことだと考えますので、引き続き市に要望するとともに、クーラー設置に向けた市の取り組みを今後もしっかりと見届けてまいります。

二つ目のトイレの悪臭と老朽化による損傷につきましては、学校施設の大規模改修時にトイレの洋式化も含めて、計画的に改修を進めていきたいというのが市の基本的な考えです。特に、においが強いトイレにつきましては、専門業者による便器、タイル面の薬品洗浄などを行って、においの軽減に努めているところです。

大井小学校におきましては、昨年12月に予算を増額してトイレの悪臭対策に取り組んだところではありますが、木村議員の御指摘をいただきましたトイレの悪臭については、早い時期に点検を行って、そして必要があれば改修を進めていただくように、市に強く要望してまいりたいと思っております。

続いて、2点目の質問にお答えいたします。

亀岡市内には、市が管理している公園が35カ所ありますが、公園は小さい子どもさんから高齢の方まで、多くの市民の方が憩いの場、交流の場として利用されています。ボール遊びは思わぬけがや事故につながるため、安全上、ボール使用禁止の看板を設置している公園もあります。木村議員がおっしゃるとおり、ボールの使用できる公園が大変少ないのが現状となっておりますが、友達と一緒に楽しく外で遊ぶことは、とても大切なことだと思います。

空き地があるので、そこに公園をつくることはできないかという質問ですが、空き地は市の土地ではないので、新しく公園をつくるとなると、用地の購入あるいは用地をお借りすることになり、いずれも地主さんの御協力が必要となります。また、用地を買う費用、整備工事にかかる費用、公園を守っていくための費用などのお金が必要になってきますし、将来のまちづくりを考えていく中で計画的に整備していく必要があることから、すぐに実現するというのは残念ながら厳しい状況であります。

安全に伸び伸びと思いついてボール遊びを楽しむ場所としては、平日の放課後でしたら学校の運動場が使用できるようになっていきますので、一人一人がルールを守り、安全面に気をつけながら御利用いただきたいと思います。

今後も、皆さんが伸び伸びと元気に遊べる環境づくりについて考えていきたいと思っております。貴重な御意見ありがとうございました。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） 次に、千代川小学校、新井慎平議員の発言を許します。

[新井慎平議員 登壇]

○新井慎平議員（千代川小学校） 千代川小学校の新井慎平です。

僕は、学校のトイレについて質問します。

皆さん、学校のトイレを「くさい、汚い、行きたくない」と思ったことはありませんか。僕の学校は亀山城の城下町にあった門が残っているなど、歴史もあり自慢できることが数え切れないほどありますが、トイレだけは自慢できません。特に、体育館のトイレは水が出なくて、尿が流れずにたまったりすることがあります。「くさくてはきそう」「体育館のトイレは使い

たくない」とか、よくみんなで話をします。

僕たちは、トイレを一生懸命掃除しています。でも、僕たちの力ではどうにもならないのです。みんなの学校生活が気持ちよく過ごせるように助けてください。

また、地震や災害が起きると小学校は避難所になり、体育館も使われます。そのようなとき、地域のお年寄りや赤ちゃんが困らないようにしてあげておくのも大切だと思っています。このことは、亀岡市の全部の学校について言えることだと思います。よろしくお願いします。（拍手）

○議長（西口純生） 小松康之君。

○小松康之議員 小松康之です。

まず、新井議員たちのトイレを一生懸命掃除するという愛校精神と、地域の災害弱者と呼ばれる人たちを思う気持ちに対しまして、敬意を表したいと思います。

それでは、千代川小学校、新井議員の質問にお答えします。

学校は、皆さんが一日の大半を過ごす場所であります。また、新井議員の御指摘のとおり、体育館も含め災害時には住民の避難場所となる重要な建物であります。トイレを含めた学校施設の改修は、教育環境の整備として重点的に取り組んでいかなければならない課題であると考えています。

しかしながら、市内には18の小学校があるため、改修整備が必要な部分を、毎年計画的に進められているところです。学校のトイレの改修については、老朽化したところ、つまり古くなったところから順序に従って進めていく予定となっています。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） 次に、千代川小学校、中井彩菜議員の発言を許します。

[中井彩菜議員 登壇]

○中井彩菜議員（千代川小学校） 千代川小学校の中井彩菜です。

私は通学路の安全を守ってほしいと思っています。通学路がとても狭いので、広くしてほしいです。

毎日、地域の人や保護者の方も見守りをしてくださっています。でも、5月までに、登校中にかばんに車が当たったなどの危険なことが2件もありました。1年生だけでなく、班長をしている私たちにとっても、事故が起こらないように気をつけていますが、登校班の一番前で歩いていると、車が間近まで接近してくるのでとても怖いです。

まずは、安全に通学できるよう道幅を広げてほしいです。それがすぐには無理でも、通学時間帯を一方通行にするとか、速度制限をするなど、大きな工事をしなくてもできることもあると思います。このことは、自治会や地域の方も取り組んでくださっています。ぜひ改善してほしいです。（拍手）

○議長（西口純生） 菱田光紀君。

○**菱田光紀議員** 菱田光紀です。千代川小学校、中井議員の質問にお答えいたします。

亀岡市では、安全な通学路となるよう、学校や自治会の皆さんからの要望や危険箇所の情報を集め、どうしたら皆さんが安全に通学できるか、よい方法について話し合いをしてきました。そのためには、道路を広げて車の走るところと人が歩くところ、これを分けることがよいと思いますが、千代川小学校の前の道は、道の横に多くの家が建っているなど、道を広げると家の移転などが必要となるため、車のスピードを落としてもらうように道路に文字などを書いたり、歩くところをわかりやすくするために緑色に塗ることなどの工夫をしてきました。

これからも安全に通学してもらえるように、通学時間帯の一方通行や、車のスピードを落として走ってもらう工夫などを、警察や地域の皆さんと話し合いながら進めていきたいと考えています。

また、亀岡市では、安全対策を進めるために関係機関が改善に向けた話し合いをする場をつくっています。市役所だけではなく、道路を管理している国や府、交通規制を担当する警察、さらに地域の方と役割分担をして安全対策に取り組んでいく考えです。

今後も危険箇所を点検し、皆さんが少しでも安心して通学ができる環境となるよう取り組んでいきたいと思っています。何よりも交通安全は、車も人もルールを守っていくことが大切であると考えています。

答弁は以上です。

○**議長（西口純生）** 次に、川東小学校、野々村拓哉議員の発言を許します。

[野々村拓哉議員 登壇]

○**野々村拓哉議員（川東小学校）** 川東小学校の野々村拓哉です。

僕は、道路設備の充実について質問します。

僕は塾に通っているのですが、たまに授業が延びることがあり、夜の7時くらいになります。自転車で帰るときには街灯も少なく、暗くて、冬にはもっと暗くなります。自転車のライトだけでは近くしか見えず、遠くは見えないので危険だと思います。また道路を渡るときにも、横断歩道がない場所があり、車のスピードが速く危険です。

他の地域では、店や住宅が多く道路の設備が充実しているので安全だと思いますが、僕のような田畑が多い地域では、道路設備の充実が十分だとは思いません。なので、道路設備の充実をお願いしたいと思います。

これで質問を終わります。（拍手）

○**議長（西口純生）** 木曾利廣君。

○**木曾利廣議員** 木曾利廣です。川東小学校、野々村議員の御質問にお答えいたします。

質問いただいた内容は、安全でなお安心して塾に通うことができるための道路の整備についてお尋ねをいただきました。

質問していただいたとおり、亀岡市内では地域が広いため、夜の街路灯がまだまだ少ない状

況です。要望のある重要な危険な場所から順次設置するために、努力してまいりたいと考えています。

また、亀岡市内のどの場所でも同じように、危険な場所は警察と協力して横断歩道をつくれるように議会も一緒になって頑張りたいと思います。

安心、安全の要望は市内各地域より数多くあることから、優先順位を決めて、順次設置することとなりますので、御理解をいただきたいと思います。

答弁は以上であります。

○議長（西口純生） 次に、つつじヶ丘小学校、北山礼於議員の発言を許します。

[北山礼於議員 登壇]

○北山礼於議員（つつじヶ丘小学校） つつじヶ丘小学校の北山礼於です。

まず1点目、地域の公園について要望します。

僕は、野球チームに入っています。キャッチボールなど自主練習をしたくても、ボールを使える公園がないのが残念です。一部でも、みんなでボール遊びができる公園をつくってほしいです。

次に2点目、学校のクーラー設置について要望します。

学習や運動に熱心に取り組めるように、学校の教室にクーラーを入れることはできないのですか。もし、一斉に設置することは無理でも、みんなが使う音楽室・図工室・理科室・家庭科室・相談室などの特別教室には、ぜひクーラーを設置してほしいです。

1学期の後半には、実際に体調不良を訴える仲間もいました。

以上で終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 明田昭君。

○明田 昭議員 明田昭でございます。つつじヶ丘小学校、北山議員の御質問にお答えいたします。

ただいま御質問いただきました2点につきましては、既に複数の方から御質問も出ておったところでございます。したがって、それほど皆さんが切実に感じておられる課題かというふうに思います。

それでは、お答えいたします。

まず、地域についてという、公園に関するお答えでございます。

亀岡市内にある公園は、小さいお子さんからお年寄り、障害のある方も遊びに来られるような地域の憩いの場所であります。このような場所でのボールの使用は、思わぬけがや事故になることがあります。そのため、安全面から、ボール使用禁止の看板を設置している公園もあります。公園使用については、地域の皆さんで話し合い、ルールを決めて安全に使っていただけたらと思います。

皆さんが安全にボール遊びをするには、やはり広い面積が必要となりますので、地域にある

学校のグラウンドを利用させていただきたいと思います。ただ、そのグラウンドも、皆さんが安全に楽しく利用してもらうためのルールがありますので、それを守って、友達みんなで楽しく思い切りボール遊びをしてほしいと思います。

もう1点、クーラーに関してのお答えでございます。

近年の猛暑は、地球温暖化の影響とも言われていますが、異常と思えるほど気温が上昇する日もあり、学校での温度調節には大変苦勞をされているところです。クーラー（エアコン）をつけることは、皆さんにとって体への負担も軽くなり、快適な学習環境になると考えますが、全ての教室にクーラーをつけることは、クーラー本体の機械の経費や電気代など、多くの費用が必要になります。

これまで、学校施設の耐震化整備を最重点に進めていますので、今すぐにクーラーを設置することはできませんが、その必要性は十分理解していますので、計画的に設置できるよう努力をまいります。

また、音楽室・図工室・理科室など、全部の特別教室へのクーラー設置につきましても、今すぐに設置することはできませんが、普通教室への設置と一緒に考えていきたいというふうなことでございます。

以上で答弁とさせていただきます。

○議長（西口純生） 次に、つつじヶ丘小学校、中川きらり議員の発言を許します。

[中川きらり議員 登壇]

○中川きらり議員（つつじヶ丘小学校） つつじヶ丘小学校の中川きらりです。

まず1点目、学校のトイレについて要望します。

学校の中で一番使われる場所がトイレです。でも、そのトイレが、「くさい・汚い・暗い」です。なので、学校でも気持ちよくトイレに行くことができるよう、改修をしてほしいです。明るく、きれいな洋式トイレを要望します。

次に、2点目、給食について要望します。

私は、給食の中でもふるさと亀岡の食材を使った献立が特に好きです。なので、もっとふるさと亀岡の特産物を生かした、愛情の感じられる給食献立にしてほしいです。つくる人も食べる人も「ほっかほか心」になるように、食材や調理方法の工夫をしてほしいです。

以上で終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 福井英昭君。

○福井英昭議員 福井英昭です。つつじヶ丘小学校の中川議員の御質問にお答え申し上げます。

皆さんがすくすくと育っていただくために、学校というところは大切なところですが、その中でも、御指摘がありましたように、美しく気持ちのよいトイレ環境というのは、大変大切なことだというふうに思っております。ですから、少しでも早く修理をしたり、つくりかえ

ないといけないのでありますけれども、亀岡市には18の小学校があるという答弁もずっと続いておりますが、多くのトイレもあります。それを順番に修理していく計画を立てて、修理をしていっています。また、洋式トイレについても、これも順番に設置するように計画を立てています。ですから、すぐに中川議員の学校のトイレがきれいに改修できるとは限りませんが、しかしだからといって、くさいにおいをほってはおけませんので、専門の業者によって、便器やタイルを薬品で洗浄していただいているところであります。

先ほど来、多くのトイレの御要望がありましたけれども、大変皆さんが困っているんだなということは、非常に私たちも痛切に感じましたので、順番にやっていかなければ仕方ありませんけれども、せめてその順番を早くしてもらうように、私たちも頑張って言っていきたいというふうに思います。

そして、皆さんもこれまでと同様に、トイレをきれいに使っていただくようお願いをしたいと思います。

二つ目の質問にお答えをします。

学校給食では、皆さんの心と体の健全な発達のため、栄養バランスを考えて献立をつくっています。献立や食材は、校長先生、給食主任の先生、PTAの役員さんなどで構成している学校給食センター運営委員会という会議の中で話し合っ決めて決まっています。

食材を選ぶときにも、できるだけ亀岡でとれたものを使うようにしています。お米については、10年ほど前から、亀岡産のキヌヒカリというお米を100%使っていますし、野菜でいうと、給食でよく使う玉ねぎやキャベツなどは亀岡のものが41%で、先ほどのお米と野菜を合わせると66%、つまり3分の2は亀岡でとれたもので給食が出ています。

亀岡の特産品についても、亀岡牛とか賀茂なすとか、八つの品目があるわけですが、これは1年に1回献立に入れてはいますが、値段の関係もありまして、使用する回数をふやすことは非常に難しいというところです。ただ、特産品を給食に出すときには、「地元産農産物利用推進事業」ということで、国や府から補助金をもらってやっていく工夫もしているところです。

亀岡でつくられた食材については、毎月配ってもらっていると思いますが、「よていこんだて」の材料に星印の表示をしていますし、また、「給食だより」などでも亀岡の食材を使った献立についてわかってもらえるというふうに思いますので、ぜひ見て確認して、味わって食べていただけたらというふうに思います。

亀岡に育って、亀岡を愛して、そしてまた亀岡の「ほっかほか心」を感じることの大切さを訴えてくれた議員の思いは、献立を考えてくださる方、つくってくださる方にも必ず伝わると思います。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） 次に、城西小学校、議員の発言を許します。

[議員 登壇]

○ 議員（城西小学校） 城西小学校の です。

私は、亀岡市内を流れる川のアユモドキについて質問します。

アユモドキはきれいな川にすむ天然記念物の魚です。そのアユモドキが亀岡の川にいることを御存じですか。登校中に見ている川には、ペットボトルや空き缶などのごみがたくさんあって、水が汚くなっていることに気がつきました。また、川に向かって石を投げている人をよく見かけます。

このような川は、魚がすみやすい場所とは言えません。アユモドキを守るため、まずは川のごみ掃除活動の機会をふやして、川をもっときれいにする、そして、「石を投げるのをやめてほしい」というのをアピールした看板を川原のところに立てることをすれば、川にいる魚たち、そしてアユモドキを助け、守っていけるのではないかと思っています。そうすれば、アユモドキもその他の魚たちも、とてもすみやすくなります。

だから、ごみ掃除活動の機会をふやしたり、石投げ禁止の看板をつくって立ててもらったりすることはできませんか。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 富谷加都子君。

○富谷加都子議員 富谷加都子でございます。城西小学校の 議員の質問にお答えしたいと思います。

天然記念物のアユモドキを守るため、もっと川をきれいにしていこうという質問でしたが、アユモドキは、学術的に極めて重要な種であり、絶滅が心配されるようになり、昭和52年に国の天然記念物に指定された亀岡の宝の一つです。かつては、桂川及びその支川に広く分布していましたが、現在は亀岡市内の一部の川で産卵、生育し成魚となり生息しています。

アユモドキ保全のために川の美化に努めることは、 議員の御指摘のとおり大変大切なことです。亀岡市では、川などにごみを捨てることを防止するための看板をつくって、ごみの多い場所に設置したり貸し出しをしたりしています。これからも、皆さんの御意見を伺いながら、新しいデザインの看板を製作したいと思っております。

アユモドキを守る活動は、地元保津地域の自治会の方を初め多くの方に協力して取り組んでいただいています。川の清掃活動はもちろん、アユモドキを食べてしまう外来魚から守ったり、アユモドキが安心して卵を産める場所をつくったり、水が少なくなってしまうときに救出するなどの活動をしていただいております。アユモドキは多くの方に守られて亀岡で暮らすことができてきました。

これからも、亀岡の環境のシンボルとして暮らしていけるように、専門家の方々の意見を聞き、多くの方のお力を借りてアユモドキを守っていきたいと思っております。

答弁はこれで終わります。

○議長（西口純生） 次に、詳徳小学校、山本果歩議員の発言を許します。

[山本果歩議員 登壇]

○山本果歩議員（詳徳小学校） 詳徳小学校の山本果歩です。

まず1点目、学校のエアコン設置について質問します。

7、8、9月は大変暑い日が続きます。暑い中、一生懸命勉強しています。でも、暑過ぎて汗が流れたり、ぼーっとしたりすることもあります。ぜひ、よりよく学習するために、学校の教室にエアコンを設置してほしいと思います。

次に2点目、通学路の安全や校区内の電灯のチェックについて質問します。

私たちの学校の通学路は車の通行量がとても多いです。それなのに横断歩道が少なく、道路も狭いところが多いです。歩きやすいように横断歩道をふやして、歩道を整備してほしいと思います。

また、夜に校区内を歩くと、電灯が切れていることがよくあります。電柱の電灯が切れていたら小まめにチェックして、直してほしいと思います。

以上で質問を終わります。（拍手）

○議長（西口純生） 湊泰孝君。

○湊 泰孝議員 湊泰孝でございます。詳徳小学校の山本議員の御質問に答えたいと存じます。

ことしの夏も大変暑い日が続いていまして、私たちもクーラーなしでは生活ができない日々を過ごしております。クーラーの重要性というものは十分認識しておりますし、そして市民の皆さん方からも、多くの皆さんから御要望をいただいております。議会でも、1日も早くクーラーが設置できるように、市のほうに要請をしているところです。

また、各学校においては、状況を調査したり、幾らお金がかかるなど、いろいろな調査を今しているところでございます。

予算のほうも大変多くの予算が要ります。小学校、中学校、全校に設置しますと、約20億円の設置費用がかかります。また、電気代も年間に1億3,000万円程度要ることから、財政状況を見ながら、今、検算をされているところであります。

また、2008年に中国で大きな地震が起きました。四川大地震といいましたけれども、その中で死者が7万人も出るような大惨事でありました。また、2万人ぐらいの方が、まだ行方不明の状況です。そんな中で、その学校が、約7,000棟の校舎がつぶれました。そんなこともあって、亀岡市では、市内の小学校、中学校の耐震、地震が起きて倒れないようにするために、耐震の補強工事、そして建てかえ等を今まで行ってきました。この後、また予算ができるようになれば、一刻も早いクーラーの設置ができるものと思っておりますので、今後とも議会としても頑張っていきたいと思っております。

またきょうは、理事者席に教育行政トップの竹岡教育長もおいででございますので、後から

いい答弁がいただけるのではないかと思いますので、よろしくお願いをしたいと思います。

また2点目の質問であります通学路の安全対策でありますけれども、学校や自治会、地域の皆さん、そして保護者の皆さん方と一緒に、子どもたちの安全確保のためにいつも話し合いをしていただいているところでございます。

車のスピードを落とすようなことであつたり、また歩道に色をつけたり、また歩道のところにある木を切っていただいたり、いろいろな御相談をしていただいて、子どもたちが安全に通学できるように、また生活できるように努力がされているところであります。

山本議員の通われている詳徳小学校の北側でも、歩道の工事が進められると聞いております。また、野条橋の歩道も設置され、かけかえをされたところでございます。

今後、国や京都府、そして警察、また地域の方々とよりよい形で相談し、安全対策をとっていくように心がけてまいりたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

そして、電灯につきましては、切れたところから、地元の区やまた自治会に言っていただければ、随時交換をしていただいているのが現状でございます。今後とも、よろしくお願いを申し上げます。

答弁は以上です。

○議長（西口純生） 次に、南つつじヶ丘小学校、中塚穰議員の発言を許します。

[中塚 穰議員 登壇]

○中塚 穰議員（南つつじヶ丘小学校） 南つつじヶ丘小学校の中塚穰です。

通学路の安全について質問します。

僕たちは毎朝、通学班で登校しています。僕たちも安全に気をつけて登校していますし、多くの地域の方々も安全を見守ってくださいます。でも、まだまだ危ないところが残っています。これからも、ガードレールや歩道をふやしてほしいと思います。（拍手）

○議長（西口純生） 竹田幸生君。

○竹田幸生議員 竹田幸生でございます。南つつじヶ丘小学校、中塚議員の質問にお答えいたします。

先ほど来、この問題につきましては、千代川小学校の中井議員、詳徳小学校の山本議員からも多くの質問がされております。それだけ、皆さん方にとって重要な課題というふうに認識をしているところでございます。答弁も、本当に先ほどと変わらない、重複した答弁にはなりませんが、よろしくお願いをいたします。

亀岡市では安全な通学路になるように、自治会の皆さん方と話し合いをし、また小学校の皆さんがいかにか安全に通学できるかということをや日々話し合いをしているところでございます。

目に見える取り組みということで、自動車にスピードを落としてもらうように、先ほど来ありましたように、道路に表示をしたり、また路側帯に色をつける、これについては、自動車にも、またそこを通る子どもたち、お年寄り、いろんな方々、地域の方々にも気をつけていただ

くために、目に見える取り組みをしているところでございます。

また、提案いただきました、歩道をふやす、幅を広げるといふ部分につきましては、これも先ほど来出ておりますように、歩道の横に家があったり、いろんな形で広げられない、こういう部分については、邪魔になる木を切ったりと、少しでも改善できるように取り組んでいるところでございます。

そして、この安全対策については、亀岡市だけでなく国、京都府、警察、そして地域の皆さんと、多くの方々と話し合いを持ちながら進めているところでございます。また、皆さんが日々通学、また生活で通る道、これにつきましても、もう一度調べたり、安全に通学できる方法を地域の方々と話しているところでございます。

また、このような多くの意見を伝えていただきたい、このように思うわけでございます。

中塚議員への答弁は以上であります。

○議長（西口純生） 次に、南つつじヶ丘小学校、山河麗奈議員の発言を許します。

[山河麗奈議員 登壇]

○山河麗奈議員（南つつじヶ丘小学校） 南つつじヶ丘小学校の山河麗奈です。

高齢者の通院について質問します。

私の祖父は心臓に病気を持っていて、月に1、2回、病院に通っています。しかし、たまに道に迷ってしまうことがあります。今は、迷っても家には帰ってこられるのですが、このままでは家に帰れなくなってしまうかもしれません。そんなことになっては、私はとても悲しいです。家族だけの協力だけでは、限界があるときがあります。ほかにも、このような高齢者がたくさんいると思います。

だから、高齢者には南丹病院、亀岡市立病院、市をまたいで京都市立病院などの総合病院に直接送り迎えができるバスを用意したらいいと思います。認知症での行方不明の方や交通事故の数も減ると思います。（拍手）

○議長（西口純生） 竹田幸生君。

○竹田幸生議員 南つつじヶ丘小学校、山河議員の質問にお答えします。

亀岡市では、高齢者も住みなれた地域で安心して暮らし続けていただけるように、まちに住む人たち全体で支えていきたいと考えています。

高齢者の皆さんが移動できる方法や、バスなどの交通機関を充実させることがますます求められると考えるところでございます。市民の皆さんの移動手段の全てをバス交通だけで担うことは難しく思います。しかし、タクシーや福祉交通、今、山河議員が御提案いただいたその病院への方法等、こういう部分は福祉交通というところに考えられるのかなというふうに思うところでございます。

また、地域の支え合いなどで社会全体の役割分担によって、みんなにとって住みやすいまちづくりが進められるよう、議会も今後取り組んでまいりたいと思います。

答弁は以上であります。

○議長（西口純生） これで、質問・意見発表の後半が終了しました。

後半の内容について、もう一度質問を行う再質問及び自由に議論を交わす自由討議をしたいと思う子ども議員はありますか。ある場合は、挙手を願います。

議員。

○議員（城西小学校） 私は、中井彩菜さんの質問に対して意見を言います。

私も同じ登校班長で、安全に学校に行けるようにしたいけど、車がいきなり進んできたりして怖いので、私も同じ意見です。（拍手）

○議長（西口純生） 山本議員。

○山本果歩議員（詳徳小学校） 詳徳小学校の山本果歩です。

私は、大井小学校の木村議員や千代川小学校の新井議員やつつじヶ丘小学校の中川議員に賛成です。

私の学校もトイレがくさいときがあるので、トイレがきれいになったらいいなと思いました。（拍手）

○議長（西口純生） 芝田議員。

○芝田頼樹議員（畑野小学校） みんな自分の学校の周りの地域のことを思って発言できていたのでよかったです。

○議長（西口純生） 野口議員。

○野口千皓議員（本梅小学校） 僕は、野々村拓哉君の意見に賛成で、僕の町も夜になるととても暗いので、街灯をつけてほしいと思いました。（拍手）

○議長（西口純生） ほかに。

関本議員。

○関本泰輝議員（保津小学校） きょうのこの議会をして、いろんなこともわかったし、友達もたくさんできたので、いいと思いました。（拍手）

○議長（西口純生） 中井議員。

○中井彩菜議員（千代川小学校） 千代川小学校の中井彩菜です。

通学路について再質問です。

歩道を緑色で色を塗ったりしても、車が歩道に入ったりして余り意味がないので、ガードレールをつけるとかして、事故が起こらないようにしたらいいと思います。（拍手）

○議長（西口純生） 平尾議員。

○平尾采純議員（吉川小学校） 吉川小学校の平尾采純です。

城西小学校の議員の意見に賛成です。

亀岡のアユモドキは国の天然記念物なので、これからも残していかなければならない生物だと思います。だから、石を投げたりするのを防止するために、看板やポスターをつくる意見に

は賛成です。（拍手）

○議長（西口純生） 中井議員の質問に対して、菱田議員、答弁願います。

○菱田光紀議員 千代川小学校の中井議員の再質問に対しまして、お答えいたします。

先ほども申しましたが、千代川小学校の前の道は大変狭うございます。おっしゃるように、ガードレールをつけるとなると、今度は車道が、車が通るところが大変狭くなってしまうと。そういうことを避けるために、今、皆さんが歩いて通るところについては緑色に塗って、車を運転する皆さんに、「ここは人が歩くところですよ。だから気をつけて走ってくださいね」と、こういう標示をしております。

しかしながら、今おっしゃったように、それを気にせず走り去ってしまう車もあるように思います。お互いにやはりその辺は気をつけながら、安全に気をつけながら取り組んでいきたいと思っておりますし、今、再質問いただいたことについては、市議会としても議員の皆さんと一緒に検討しながら、これから進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○議長（西口純生） 新井議員。

○新井慎平議員（千代川小学校） 僕の質問に答えてくれた小松さんに再質問します。

学校のトイレを直してくれるのはいつごろからなのか。

○議長（西口純生） 小松議員。

○小松康之議員 先ほどほかの方から答弁がありましたけれども、今、学校の耐震化工事もあとわずかですけれども、集中してやっています。その命を守る耐震化工事が終わり次第、順次またどんどんとそういう対策もできると思っておりますので、今、いつからということではなくて、また順番に進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（西口純生） ほかに。

上島議員。

○上島紗季衣議員（曾我部小学校） 曾我部小学校の上島紗季衣です。感想を言います。

きょうの議会でみずから質問できて、いい機会になったと思います。亀岡市の中でも、いろんな困ったことがいっぱいあることがわかりました。もっと亀岡市がすてきなまちになってほしいと思います。（拍手）

○議長（西口純生） 西田議員。

○西田光圭議員（亀岡小学校） 亀岡小学校の西田光圭です。

僕の通っている学校の亀小は、道は明るいだけでも、僕が住んでいる三宅町の一帯は、中に入り込むととても暗いので、ひどいところは前1メートルも全く見えないので、街灯の取りつけをもうちょっと頑張してほしいなと思っています。（拍手）

○議長（西口純生） 稲原議員。

○稲原由里秋議員（東別院小学校）　たくさんの学校でエアコンやクーラーの問題があつて、私が通っている東別院小学校は周りに木などがあつて涼しく感じるけれども、たくさんの学校は暑く感じたりするところがあるんだなと思いました。（拍手）

○議長（西口純生）　湯浅光太郎議員。

○湯浅光太郎議員（安詳小学校）　安詳小学校の湯浅光太郎です。

クーラーについて、私も一緒に、早く快適で涼しい中、授業を受けたいと思います。

以上です。

○議長（西口純生）　木村議員。

○木村幸志議員（大井小学校）　大井小学校の木村幸志です。

中井議員と一緒に、僕の登校班が集まるところは、車がよくは通らないけど、狭くてぶつかりそうになります。道を、人が歩くところをもう少し広くしてほしいです。（拍手）

○議長（西口純生）　福阪議員。

○福阪夏菜議員（青野小学校）　青野小学校の福阪夏菜です。

私は、詳徳小学校の山本議員に賛成です。

私が登校のとき通る道も街灯が少なく、夜にはすごく暗くなるので、街灯をたくさんつけてほしいです。（拍手）

○議長（西口純生）　ほかにございませんか。

中川議員。

○中川きらり議員（つつじヶ丘小学校）　つつじヶ丘小学校の中川きらりです。

私は、きょう、給食についての質問をして、こんなにたくさん亀岡産の食材を使っていることがわかり、もっと給食を大切にしていきたいなと思いました。（拍手）

○議長（西口純生）　ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（西口純生）　それではこれで、再質問・自由討議を終了します。

以上で、質問・意見発表を終了します。

○議長（西口純生）　次に、日程第5、決議案について、議題とします。

子ども議会から、「ふるさと亀岡のまちづくりをともに考える決議（案）」が提出されていますので、提案理由の説明を求めます。

安詳小学校、高岡明日空議員。

〔高岡明日空議員　登壇〕

○高岡明日空議員（安詳小学校）　安詳小学校の高岡明日空です。

24名の子ども議会議員を代表して、提案理由を説明いたします。

お手元配付の「ふるさと亀岡のまちづくりをともに考える決議（案）」の朗読をもって、提

案理由の説明にかえさせていただきます。

このたび、私たちは、市制60周年及び市議会60周年を記念した「亀岡市議会子ども議会～ともに考え、一緒につくろう ふるさと亀岡～」に参加し、改めて自分たちが住んでいる地域や亀岡市全体のことを考える機会を得ました。

質問は、24人それぞれがクラスや学校の仲間と話し合っただけの内容で、通学路の安全や学校の環境整備、公園整備、自然環境保護など、広い範囲に及びました。どれも私たちの生活に関係していることばかりで、答弁をお聞きして、市役所の仕事は市民の生活に密着していることがとてもよくわかりました。

また、きょうは、ふだんは質問をされている議員の方々から、亀岡市の現状も含めてお答えをいただきましたが、実際に質問をしてみて、市議会議員の皆様の大事な役割も理解できました。

亀岡市は、自然が豊かで水や空気がおいしく、そして歴史と伝統のある素晴らしい私たちのふるさとです。私たちの大好きな誇れる亀岡市が、これからはますます、素晴らしいまちとして発展するように、亀岡市議会議員の皆様のより一層の御活躍をお願いします。

私たちも今回の貴重な経験を生かし、まちづくりを人ごととせず、自分たちのことであると認識し、これからは議員の皆様や市役所の皆様とともに考え、ふるさと亀岡を一緒につくるために取り組んでいきたいと思えます。

以上、決議します。平成27年8月21日、亀岡市議会子ども議会。

以上です。

○議長（西口純生） お諮りします。

ただいまの決議案については、質疑及び討論を省略して、直ちに採決したいと思えますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（西口純生） 異議なしと認め、質疑及び討論の省略を決定しました。

ただいまから採決を行います。

採決の方法は挙手により行います。

「ふるさと亀岡のまちづくりをともに考える決議（案）」について、原案のとおり決定することに賛成者の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（西口純生） 挙手全員です。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

ただいま可決されました決議案の字句等の整理は、議長に一任願います。

ふるさと亀岡のまちづくりをともに考える決議（案）

この度、私たちは、市制60周年及び市議会60周年を記念した『亀岡市議会子ども議会～ともに考え、一緒につくろう ふるさと亀岡～』に参加し、改めて自分たちが住んでいる地域や亀岡市全体のことを考える機会を得ました。

質問は24人それぞれがクラスや学校の仲間と話し合っただけの内容で、通学路の安全や学校の環境整備、公園整備、自然環境保護など広い範囲に及びました。どれも私たちの生活に関係していることばかりで、答弁をお聞きして、市役所の仕事が市民の生活に密着していることがとてもよくわかりました。

また、今日は、普段は質問をされている議員の方々から亀岡市の現状も含めてお答えをいただきましたが、実際に質問をしてみて、市議会議員の皆様の大事な役割も理解できました。

亀岡市は、自然が豊かで、水や空気がおいしく、そして歴史と伝統のある素晴らしい私たちのふるさとです。私たちの大好きな誇れる亀岡市がこれからもますます素晴らしいまちとして発展するように、亀岡市議会議員の皆様のより一層のご活躍をお願いします。私たちも今回の貴重な経験を生かし、まちづくりをひとつとせず、自分たちのことであると認識し、これからも議員の皆様や市役所の皆様とともに考え、ふるさと亀岡を一緒につくるために取り組んでいきたいと思っております。

以上、決議します。

平成27年8月21日

亀岡市議会子ども議会

○議長（西口純生） 以上をもって、亀岡市議会子ども議会の議事日程は全て終了しました。

ここで、教育長から挨拶をいただきたいと思います。

竹岡教育長。

○教育長（竹岡 敏） 子ども議員の皆さん、こんにちは。教育長の竹岡敏です。一言御挨拶を申し上げます。

きょうは、亀岡市議会及び亀岡市制60周年を記念して開会されました子ども議会に、亀岡市内18小学校から24名の6年生の皆さんが参加をしてくれました。本当にありがとうございます。大変御苦労さまでした。

また、熱心に御指導いただきました各小学校の校長先生を初め諸先生方に心から感謝を申し上げ、お礼を申し上げたいと思います。

さらに、残暑厳しい中を傍聴いただきました保護者の皆さんに、重ねて厚くお礼を申し上げます。

子ども議員の皆さんの意見や質問を全て聞かせていただきました。皆さんの身近な生活の中に目を向けた、とてもいい質問であったというように思います。

この議場での議会体験は初めてのことだと思いますけれども、全員の議員の皆さんが本当に落ちついていて、しっかりと自分の思いを発言してくれていました。とても頼もしく感じました。

そして、亀岡市の将来を担っていただく皆さんが、子ども議会として、ふるさと亀岡のまちづくりをともに考える決議案を可決されたことは、大変意義深いことであると思います。とても感動いたしました。

皆さんの思いに応えられるように、学校がさらによくなっていくように、皆さんが安心して学習ができるように、私たちも頑張っていきたいと思います。

皆さんは、社会科の学習で私たちの生活と政治について勉強をしていると思います。その中で、市議会の仕事ですとか、市役所の仕事について学習をしているわけですがけれども、きょうの子ども議会はその学習に役立つ貴重な議会体験の学習の場になったと思っています。大事にしてほしいと思います。

選挙権が18歳に引き下げられました。政治がより身近になりました。地方の政治や国の政治について関心を持つことは、とても大事なことです。新聞を読んだりニュースを見たりして、日本の社会の問題や自分たちの身の回りの暮らしの問題についてよく考え、自分の意思がしっかり示せる人になってほしいと願っています。これからもしっかりと勉強して、この亀岡の将来を担う立派な社会人になってください。

夏休みもあと1週間ほどで終わって、いよいよ2学期が始まります。きょうの経験をもとにして、一回り大きく成長された皆さんが、それぞれの学校で、学校のリーダーとして活躍してくれることを心から願っております。精いっぱい応援をしたいと思います。

きょうは本当に御苦労さまでございました。

後になりましたが、このたび、子どもたちに貴重な議会体験の場を与えていただきました西口市議会議長様を初め、市議会議員の先生方に心から感謝とお礼を申し上げまして、私の御挨拶とさせていただきます。本当に御苦労さまでした。

○議長（西口純生） ありがとうございます。

次に、副議長が閉会挨拶をいたします。

齊藤副議長。

○副議長（齊藤一義） 子ども議員の皆さん、大変お疲れさまでございました。

「ともに考え、一緒につくろうふるさと亀岡」と題しまして、子ども議会を開催いたしましたところ、皆さんの質問や意見を聞かせていただき、日ごろ皆さんがこんなことを考えているんだ、あんな夢を持っているんだと、皆さんの生き生きとした表情から、そういったものを見て、私どもも大変元気づけられました。また、大人である私たち議員が大変感心することが多くありまして、見習わなければならない、そんなことを感じたわけでございます。

皆さんお一人お一人が力を合わせていただいたことによりまして、この市議会・市制60周年の節目にふさわしい、大変すばらしい子ども議会にさせていただけたと、本当に感謝しています。ありがとうございます。

また、保護者の皆様、担当いただきました教員の皆様方には、子ども議会の開催に当たり、多大な御協力を賜りまして、まことにありがとうございます。おかげをもちまして、私たちの目的の一つでありました、より広く、より多くの市民の皆さんの意見を聞く機会として、大変有意義な取り組みとなりましたことに、重ねて御礼を申し上げます。

そして、子ども議員の皆さんには、今日の頑張りを忘れないでいただきたいと思います。今後の皆さんの人生において、この子ども議会に参加してくれましたチャレンジ精神が生きる、そんな時が将来必ずくる、そのように確信しています。

そして、決議をしていただいたように、ふるさと亀岡について真剣に考え、さまざまな形で皆さんが、よりよいまちづくりに取り組んでいってくれる日が来ることを切に願っています。

最後に、ここにいらっしゃる皆様のこれからの御活躍と変わらぬ市議会へのお力添えをお願いするとともに、皆様方の御健勝と御多幸を御祈念申し上げ、閉会の御挨拶とさせていただきます。本日は、長時間にわたり、本当にありがとうございました。

○議長（西口純生） 以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして、市議会・市制60周年記念事業亀岡市議会子ども議会を閉会します。

子ども議員の皆さんを初め、御協力いただきました全ての皆様に関心から感謝を申し上げます。御苦労さまでした。

午後 4時26分散会

地方自治法第123条第2項の規定に基づき署名する。

亀岡市議会議長 西 口 純 生

亀岡市議会副議長 齊 藤 一 義

会議録署名議員 西 田 光 圭

会議録署名議員 高 岡 明 日 空